

■画像診断室

1. 2018 年度の目標及び方針

- 1) 努力可能な経費見直しと削減「(検査業務以外の残務としての) 時間外の削減」
- 2) 職場風土の改善「2点確認遵守により患者誤認ゼロを継続する」
- 3) JCI, ISO への取り組み「JCI, ISO の不適合ゼロを目指す」
- 4) 院内研修の参加「必須研修参加率 100%を目指す」

2. 2017 年度評価

- 1) 財務の視点では、『MR 検査件数の増加』は前年度より 421 件の増加(2.6%up) だが、年間目標 800 件増加には達しなかった。しかし 3 テスラ MR I 装置がバージョンアップしたことにより、放射線科医師の撮影許可部位が増え検査件数増加に繋がっていると思われる。『時間外の削減』は、前年度と比較し結果として+874.5 時間(+15.9%)となった。特に下半期の時間外増加は、病院 CT の増設に伴う検査諸条件調整等の理由による影響と考えられる。
- 2) 顧客の視点では、『有給休暇取得日数の向上』は、技師は年間平均取得日数 10.9 日で有給消化率 59.2%、受付は年間平均取得日数 17.6 日で有給消化率 97.6%だった(退職者省く)。画像全体では年間平均取得日数 12.1 日、有給消化率 66.0%であり、目標値 50%を上回った。『待ち時間(予約枠外)に対する説明対応の実施』は、受付が各自患者様への待ち時間の説明文を考え丁寧な説明を実施した。各検査室では技師が待合室で説明し、席外しや食事のご案内をしてお待ちいただいた。『老朽化装置の継続的更新及び安定稼働・件数増加』は、320 列 CT が新規導入された。MRI、CT など高額機器の使用年数が 10 年となり部品供給に不安があるため順次更新を申請していく。血管撮影装置(第 2 カテ室)に関しては補助金次第の更新予定となっている。
- 3) 内部プロセスの視点では、『PDCA サイクルを明確にした一般撮影ロス率軽減と技術向上(QI)』は、勉強会開催回数は目標を達成できた。年間ロス率は、クリニック一般撮影が「5.12%」、救急一般撮影が「5.14%」、ポータブル撮影が「5.72%」という芳しくない結果となった。今後も若手指導の徹底が課題であり、更なる検討も行いこの活動を続けていきたい。『2点確認遵守による患者誤認インシデントの低減』は、前年度患者誤認 9 件に対し、2017 年度は 11 件であった。モニタリングは出来なかったが、朝礼での全事例共有・個別指導・RCA 分析を行った。CT では 1 件にとどまり、患者確認方法を確立させ徹底した効果と思われる。『画像 ICT による毎月のラウンド実施による画像診断室の感染管理』は、手指衛生遵守率は目標を上回る 81%となった。個々人が意識して手指衛生を行えるようになってきた。『STAT 報告件数の増加』は、目標値を上回る 151 件(22.8%増)という結果を出した。新人の報告数の増加を期待し勉強会等を開催した。『職務記述書の改訂』は、卒業証明書の回収は 100%達成、各手順書の改訂は 60%達成、職務記述書の改訂は病院全体で使用するフォーマットの骨子がまとまるのに時間がかかり、改訂方針を提示することに遅れが生じている(到達度 50%)。『各種手順書の改訂』は、各種検査手順書に関しては、一般撮影以外の改訂が完了。一般撮影は他のモダリティと比較して極端に文章のボリュームが多く、また作成ソフトをファイルメーカーから Word に変換する作業にかなり難航している。
- 4) 学習と成長の視点では、『必須研修の参加率増加』は、医療安全 86.9%、感染管理 90.2%、診療報酬 88.5% 災害訓練 86.9% 全達成 72.1%の達成率となった。中間時と比較し達成率はあがったが全達成率を伸ばしたい。『画像内勉強会の参加率増加』は、4 月~1 月までの参加率は 63.6%。今年度

は新しく勉強会開催枠として毎月の開催日を決めて実施。あらかじめ開催日がわかっていたら各自予定しやすいため出席率があがると予想したが、前年度を下回った。各モダリティの自由参加勉強会が多く、残務や予定外の休み等による欠席でも連絡してこないスタッフが多いことも出席率が低い要因のひとつと考える。勉強会開催回数 22 回、のべ参加人数 479 人であり、昨年度（開催回数 22 回、のべ参加人数 430 人）と比較してみても、出席率とは逆にのべ参加人数は増加している。『アクションカード改訂に基づいた部内災害訓練の実施』は、津波階上訓練を机上で 3 回、実技で 2 回、消化器取り扱い訓練を含む火災訓練を 1 回行った。後半は訓練が行えなかったが、委員内にて訓練の振り返りや反省会を行い 3 月に AC カードの改訂を行った。『患者急変時対応訓練の実施』は、実施者側の都合や人が集まらない等の理由で月 1 回の開催は実現できなかった。来年度以降も継続するのであれば担当者を増やすこと、開催日あらかじめ決定しておくなどの工夫が必要かと思う。月によっては参加者が多過ぎて全員がメインを担当できなかったことも 1 つの要因である。（訓練担当者 2 名、参加者 36 名：参加率 69%）『認定資格取得に向けた教育・指導と支援』は、難易度の高い認定試験へ受験がありいくつかは残念ながら合格しなかった。医療情報技師、乳腺認定にて各 1 名の合格であった。中堅の退職もあり各認定への受験があまりなかったと考える。『研修参加件数の増加と学会発表・論文発表の推進』は、上半期は目標の半数を上回る 28 演題の発表があったが、下半期は 19 演題と上半期を下回る結果となった（計 47 演題）。秋期など遠方の学会も多く退職者による人員の影響も考えられる。『研究倫理講習会の受講と更新の推進』は、参加人数 12 名であり、office365 の掲示の他にも朝礼での喚起も行ったが、目標の 20 名は達成出来なかった。掲示をもう少し早くした方が勤務希望を出す面で参加人数を伸ばすことが出来たのではないかと考える。まずは、学会発表をする際には講習会参加が義務である旨の全体への認知が重要であると考えます。

3. 年間活動内容と紹介

1) スタッフ数

診療放射線技師 53 名 医学物理士 1 名 看護師（MRI 専門）1 名 臨床検査技師（MRI 専門）1 名
受付 12 名 計 68 名

2) 2017 年度導入機器

2018 年 1 月 320 列 CT 装置 1 台（本院）『Aquilion ONE』 Canon（旧東芝）製

3) 画像診断室主催勉強会

- 4 月 新人教育（技師）QI「膝」（技師）脊椎疾患（放射線科医師）
- 5 月 接遇（業者）椎体病変の読影（放射線科医師）くも膜下出血（放射線科医師）
- 6 月 QI「胸部」（技師）
- 7 月 脳腫瘍の画像診断（放射線科医師）
- 8 月 感染（技師）5 リング PET-CT 検査（放射線科医師）QI「ポータブル」（技師）
- 9 月 ミエログラフィ（放射線科医師）QI「肩関節実技」（技師）消化器訓練（技師）
- 10 月 STAT 報告（放射線科医師）QI「指」（技師）
- 11 月 システムトラブル対応（技師）新人抜針（看護師）ISO（技師）脊髄造影（放射線科医師）
- 12 月 感染（技師）QI「足部」（技師）
- 1 月 異物の画像（放射線科医師）
- 2 月 QI「手関節、手根骨」（技師）頸部痛（放射線科医師）
- 3 月 MRI 小児（放射線科医師）

4. 実績

2017年度 月別検査状況

単位：件

月別		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
区分															
一般撮影	胸部	5443	6000	5669	5665	6087	5850	5852	5564	5574	5381	5277	5611	67973	5664.4
	一般	4109	4681	4618	4194	4449	4374	4356	4233	4588	4261	3998	5025	52886	4407.2
	乳腺	568	660	1269	1076	998	974	1084	1076	936	847	593	692	10773	897.8
	骨密度測定	341	349	378	354	355	341	320	328	331	321	315	358	4091	340.9
	ポータブル	1697	1878	1844	1856	1608	1821	1917	1938	1928	1993	1915	2043	22438	1869.8
一般造影	上部消化管	103	182	232	209	221	187	220	226	236	160	177	125	2278	189.8
	注腸				2			1				1		4	1.3
	DIP・UG	2	5	2	4	4	2	5	5	3	1	4	5	42	3.5
	ERCP	61	64	59	66	68	61	62	55	53	47	42	41	679	56.6
	PTCD	5	1	2	4	2	4	4	3	1	2	3	2	33	2.8
その他	129	177	178	166	160	183	154	176	181	152	187	146	1989	165.8	
血管撮影	頭部	16	6	26	19	16	16	16	19	23	23	21	21	222	18.5
	腹部	17	18	20	16	10	29	22	17	17	13	14	22	215	17.9
	心カテ	171	146	145	149	146	153	168	147	165	157	172	189	1908	159.0
	その他	12	17	15	16	19	19	22	14	15	23	12	16	200	16.7
	ハイブリッド	4	10	8	9	4	8	6	10	7	13	10	10	99	8.3
CT	3380	3509	3838	3701	3831	3580	3805	3622	3761	3651	3448	3804	43930	3660.8	
MR	1582	1578	1698	1614	1735	1569	1623	1579	1621	1515	1485	1634	19233	1602.8	
合計	17640	19281	20001	19120	19713	19171	19637	19012	19440	18560	17674	19744	228993	19082.8	
区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
	RI検査数	132	132	149	146	169	156	147	155	134	153	155	158	1786	148.8
	PET検査数	334	316	329	339	386	303	319	337	313	303	304	343	3926	327.2
区分	月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
	治療患者数	1112	1135	849	938	968	1063	1207	1169	1241	1135	1171	1117	13105	1092.1
	IMRT患者数	213	225	155	148	222	181	243	259	219	193	171	165	2394	199.5
【特殊治療患者数】		体幹部定位照射…23人 全身照射…7人 RALS…27人													

5. 学術関係

学会・研究会発表

* 発表者名：秋田 裕介

演題名：みんなの CTC Annex 1次チェックレポートについて

発表学会名：第4回 M☆GIT

開催月日：2017年4月22日

* 発表者名：加藤 義明

演題名：ここだけは押さえておきたい5つのこと 頭部 MRI

発表学会名：第1回 C-MAC 研究会

開催月日：2017年5月13日

* 発表者名：中西 宏太郎

演題名：当院における読影補助体制-STAT 報告-により発見された PE・DVT 症例の報告

発表学会名：第20回日本臨床救急医学会総会・学術集会

開催月日：2017年5月26日～5月28日

* 発表者名：須田 章則

演題名：JATEC に準拠した当院の頸椎単純 X 線撮影依頼に対する適正化の検討

発表学会名：第20回臨床救急医学会・学術大会

開催月日：2017年5月26日～5月28日

* 発表者名：池谷 尚人

演題名：当院の脳神経外科領域における高解像度 CBCT

発表学会名：日本血管撮影インターベンション専門診療放射線技師認定機構 第1回ワークショップ

開催月日：2017年6月2日～6月3日

* 発表者名：永井 基博

演題名：MPV の有効活用法

発表学会名：第18回千葉磁気共鳴塾

開催月日：2017年6月3日

* 発表者名：秋田 裕介

演題名：CT Colonography における炭酸ガス送気停止前後の腸管拡張変化

発表学会名：第14回消化管 CT 技術研究会

開催月日：2017年6月9日～6月10日

* 発表者名：八巻 伸

演題名：症例検討会「64列 CT」

発表学会名：Cardiac-CT 研究会

開催月日：2017年6月18日

* 発表者名：池谷 尚人

演題名：頭頸部領域の治療

発表学会名：第10回千葉 IVR 技術セミナー

開催月日：2017年6月18日

* 発表者名：田島 太一

演題名：胃 X 線撮影でのピロリ感染診断における陽性的中率と偽陽性症例の検討

発表学会名：第56回日本消化器がん検診学会総会

開催月日：2017年6月23日～6月24日

*発表者名：小野 雄一郎

演題名：速い！多い！うまい！～使いこなそう My スキル～

発表学会名：第27回 Medical、Imaging、Forum

開催月日：2017年7月1日

*発表者名：加藤 義明

演題名：ワークショップ「治療につながる撮影技術」乳腺診療におけるMRIの果たす役割

発表学会名：第71回千葉撮影技術研究会

開催月日：2017年7月2日

*発表者名：岩上 亜矢

演題名：心臓カテーテル検査における看護師立ち位置の検討

発表学会名：CVIT2017

開催月日：2017年7月5日～7月8日

*発表者名：相京 佐和子

演題名：認定コーチによるコーチング研修への取り組み アンケート調査からわかること

発表学会名：第19回日本医療マネジメント学会学術総会

開催月日：2017年7月6日～7月8日

*発表者名：加藤 義明

演題名：BASIC-LECTURE 「画像診断のMain-Point」 婦人科MRIの基礎

発表学会名：第47回 Chiba-MRI-Afterwork-Club

開催月日：2017年7月7日

*発表者名：秋田 裕介

演題名：当院における可搬型医用画像媒体出力システム運用の取り組み

発表学会名：第67回日本病院学会

開催月日：2017年7月19日～7月21日

*発表者名：富田 智子

演題名：当院画像診断室で発生したインシデントと対策の1例

発表学会名：第67回日本病院学会

開催月日：2017年7月19日～7月21日

*発表者名：相京 佐和子

演題名：院内コーチングスタッフによる研修活動への取り組み

発表学会名：第67回日本病院学会

開催月日：2017年7月19日～7月21日

*発表者名：小野 雄一郎

演題名：当院のQI活動のひとつ「一般撮影における再撮影率の低下」の取り組みと得られた成果

発表学会名：第67回日本病院学会

開催月日：2017年7月19日～7月21日

*発表者名：須田 章則

演題名：JCI継続認証におけるSTAT報告体制構築後の読影補助としての有効性の検証

発表学会名：第67回日本病院学会

開催月日：2017年7月19日～7月21日

*発表者名： 加藤 義明

演題名：「DCIS を徹底解説～各モダリティからみてみよう～」DCIS の MRI

発表学会名：日本放射線技術学会 第 222 回東京支部技術フォーラム

開催月日：2017 年 9 月 10 日

*発表者名： 永井 基博

演題名：A Phantom Study of Brain T1WI Contrast Using 3D Fast Spin Echo Sequence with Variable Flip Angle

発表学会名：第 45 回日本磁器共鳴医学会大会

開催月日：2017 年 9 月 13 日～9 月 16 日

*発表者名： 加藤 義明

演題名：Study of T2-Weighted Images for Uterus Imaging in Radial Scan with GRAPPA Method

発表学会名：第 45 回日本磁器共鳴医学会大会

開催月日：2017 年 9 月 13 日～9 月 16 日

*発表者名： 石井 大地

演題名：JCI (Joint Commission International) 認定更新に向けた取り組み：手指衛生遵守のための教育ツール作成

発表学会名：第 33 回日本診療放射線技師学術大会

開催月日：2017 年 9 月 22 日～9 月 24 日

*発表者名： 八巻 伸

演題名：造影剤副作用に対する初期対応シミュレーションの少数短時間実施

発表学会名：第 33 回日本診療放射線技師学術大会

開催月日：2017 年 9 月 22 日～9 月 24 日

*発表者名： 秋田 裕介

演題名：大腸 CT 検査の前処置に関する 1 次調査報告

発表学会名：第 33 回日本診療放射線技師学術大会

開催月日：2017 年 9 月 22 日～9 月 24 日

*発表者名： 八巻 伸

演題名：CT 専用造影剤自動注入装置に使用による空気迷入の評価

発表学会名：第 45 回日本放射線技術学会秋季学術大会

開催月日：2017 年 10 月 19 日～10 月 21 日

*発表者名： 石川 和弥

演題名：～患者中心の医療の推進における多職種連携について～

発表学会名：VHJ 研究会 平成 29 年度職員研修交流会分科会「業務改善」

開催月日：2017 年 10 月 20 日～10 月 21 日

*発表者名： 石井 大地

演題名：心臓カテーテル検査における患者ひばく管理シートの作成

発表学会名：CCT2017

開催月日：2017 年 10 月 25 日～10 月 28 日

*発表者名： 秋田 裕介

演題名：導入後約 10 年が経過した当院における大腸 CT 検査の体制整備

発表学会名：第 15 回消化管 CT 技術研究会及び学術班会議

- 開催月日：2017年11月10日～11月11日
- *発表者名：秋田 裕介
演題名：症例から学ぶ大腸解析の A to Z
発表学会名：消化器シヨイントミーティング 2017
開催月日：2017年11月18日
- *発表者名：秋田 裕介
演題名：可搬型医用画像媒体出力システムの構築とインシデントリスク低減効果の検証
発表学会名：第37回医療情報学連合大会
開催月日：2017年11月19日～11月23日
- *発表者名：池谷 尚人
演題名：高解像度 CBCT におけるラミナフローの検討と低減の工夫
発表学会名：第33回 NPO 法人日本脳神経血管内治療学会学術総会
開催月日：2017年11月23日～11月25日
- *発表者名：加藤 義明
演題名：Vs. SIEMENS 他社装置併用施設から見たシーメンスの難点と対策 「脳 MRA の末梢描出」
発表学会名：第9回千葉 MAGNETOM 研究会
開催月日：2017年11月25日
- *発表者名：永井 基博
演題名：乳腺 DWI
発表学会名：第19回千葉磁気共鳴塾
開催月日：2017年12月2日
- *発表者名：小野 雄一朗
演題名：千葉県における救急の現状「アンケート報告」
発表学会名：第72回千葉撮影技術研究会
開催月日：2018年1月6日
- *発表者名：秋田 裕介
演題名：医用画像表示用モニタの品質管理
発表学会名：第17回全国 X 線撮影技術読影研究会
開催月日：2018年1月26日～1月28日
- *発表者名：小野 雄一朗
演題名：技の継承 ～再撮影率は下げられるのか？～
発表学会名：第17回全国 X 線撮影技術読影研究会
開催月日：2018年1月26日～1月28日
- *発表者名：友邊 和哉
演題名：副腎の核医学検査
発表学会名：第96回千葉核医学技術研究会
開催月日：2018年2月3日
- *発表者名：神子 枝里子
演題名：CTC 用検査食の有無における前処置精度改善の検討
発表学会名：日本 CT 健診学会学術集会
開催月日：2018年2月9日～2月10日

*発表者名： 秋田 裕介

演題名：ハンズオンセミナー 大腸 CT 検査の前処置

発表学会名：第 30 回日本消化器画像診断情報研究会

開催月日：2018 年 2 月 24 日

*発表者名： 加藤 光久

演題名：定年・人材育成・人事マネジメントについて

発表学会名：第 11 回全国病院管理学会 放射線業務委員会

開催月日：2018 年 3 月 9 日

*発表者名： 白倉 知明

演題名：急性期脳梗塞に対する当院の検査・治療の現状

発表学会名：安房夷隅画像研究会

開催月日：2018 年 3 月 3 日

文責：加藤 光久、石川 和弥